

第33号

平成26年3月3日発行  
編集局 JA山口中央会



# 集落営農法人だより

## 課題別研修会・検討会「ITの活用／法人間連携」開催

2月26日、山口市のパルトピア山口で課題別研修会・検討会「ITの活用／法人間連携」を開催しました。研修会には、協議会会員法人、県・JA等関係機関職員含め約60名が参加しました。

本協議会は、今年度より各地域の課題解決を趣旨に地域法人協議会と共催する研修会「検討部会」と、本協議会単独主催の研修会「課題別研修会・検討会」の2種類の課題解決研修会を実施しております。検討部会では、JGAPや経営管理、情報発信、大豆の栽培技術等をテーマとしており、課題別研修会・検討会ではITの活用、人材確保・育成、法人間連携の3テーマに絞り検討を進めてきました。



研修会の様子

### 研修日程

- ① 情報提供「ITの利用状況と意見交換会の概要」  
発表者：協議会事務局
- ② 講義「集落営農法人における有効的な情報発信」  
講師：シンプルシステム株式会社 代表取締役 伊藤 勝彦 氏
- ③ 事例発表「農業支援システム“智のWA！耕作のしおり”」  
発表者：株式会社富士通エフサス  
(農)下郷農業構造改善組合 橋尾 恵美 氏
- ④ 講義「法人間連携の概要と必要性」  
講師：山口県農林総合技術センター 主査 白石 一剛 氏
- ⑤ 事例発表「法人間連携がもたらす効果」  
発表者：LLP横田特定農業法人ネットワーク 代表幹事 佐伯 徳明 氏

「ITの活用」については、協議会事務局が事前に実施したIT利用状況に関するアンケート結果等を報告しました。その後、シンプルシステム株式会社の伊藤勝彦代表取締役が「集落営農法人における有効的な情報発信」と題し、情報発信の手順や手段、実際の活用事例等について講義されました。

また、協議会がモデル的に導入を進めている「農業支援システム“智のWA！耕作のしおり”」について、開発者である(株)富士通エフサスがデモンストレーションを実施し、モデル法人である周南市の(農)下郷農業構造改善組合の橋尾恵美氏が使用した感想を発表されました。

同システムは、GAPを活用した継続的な農業改善を趣旨としており、作付計画・栽培計画・作業記録を地図上に示された圃場とリンクさせ簡易に処理することができるシステムとなっております。



伊藤代表取締役



佐伯代表幹事

「法人間連携」については、県農林総合技術センターの白石一剛主査が「法人間連携の必要性」と題し、集落営農法人が抱える課題の整理から解決手法である法人間連携の在り方(連携内容、体制等)について講義されました。

その後、島根県のLLP横田特定農業法人ネットワークの佐伯徳明代表幹事が、法人間連携をまとめる有限責任事業組合の設立経緯、現在の取り組み、今後の展望について発表されました。

研修会参加者は、「目的意識・達成点を明確にした上でのITを活用した情報発信、そして後継者への経営継承に向けた内部情報の蓄積が大事ということがよくわかりました。また、法人間連携についてはすぐに取組むことはできませんが、経営の合理化・効率化の観点から将来を見据えて検討していきたいです」と話されました。

## 若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」研修会・交流会を開催

若手法人就業者サークル「百姓錬磨の会」は、2月1日、山口市のJA山口中央会事務所で研修会・交流会を開催しました。研修会・交流会にはサークル員他、若手農業者、農大生等約20名が参加しました。

茨城県の株式会社大嶋農場の大嶋康司代表取締役が「再生産のできる農業経営を目指して」と題して、自社のこだわりやこれからの農業生産法人に求められていること(=取組まなくてはいけないこと)、若手就業者に期待すること等を話されました。

同サークルは、サークル員を募集しております。興味を持たれた方は、本協議会事務局 [JA山口中央会 農業振興部 (担当: 中村) [TEL: 083-902-7503](tel:083-902-7503)] まで、お気軽にお問合わせください！お待ちしております (^-^ ) ♪